Focus in 南島原

まちの話題

身近な史跡の魅力を再発見

11月６日、北有馬町自治会長会が「日野江城跡・原城跡を巡る史跡巡りウォーク」を実施し、参加者は有馬川の殉教地やセミナリヨ跡などを巡りました。

私たちの身近にある史跡には、さまざまな魅力があり、世界遺産へとつながっています。

遠藤周作ゆかりの地を巡る

遠藤周作氏の没後20周年を迎えることを記念し、11月20日に「遠藤周作と日野江城を巡るツアー」が開催されました。

キリスト教徒だった遠藤氏は、日野江城跡を幾度となく訪れており、４００年前にローマに留学したセミナリヨの生徒たちに強い親近感を持っていたと書き残しています。

当日は遠くは鹿児島県からの参加もあり、参加者は遠藤周作文学館の北村学芸員による講演の後、遠藤氏が通った日野江城跡の古道などを巡りました。

県内初 ソフト開発で地域活性化

10月から11月にかけて、市内外のＩＴ関係者の参加のもと地域活性化に向けたソフトを開発するＩＴ開発合宿（アイデアソン、ハッカソン）を実施しました。

11月27日、６つに分かれたチーム毎に成果発表などを行い、チーム「しぃそぅ」の島原手延そうめんを国内外に展開していくプロジェクトが最優秀賞に輝きました。

※ハッカソンとは、システム解析・改良を意味する「ハック」と「マラソン」の造語で、自治体主催では県内初の取り組みです。

ソフトバレーチーム「チーム南島原」がねんりんピックなどで準優勝

10月の「ねんりんピック長崎２０１６」と11月の「九州ブロック・総合フェスティバル in 佐賀」のソフトバレーボール競技で、「チーム南島原」が準優勝を飾りました。

おめでとうございました。

いつまでもお元気で

～100歳おめでとうございます～

林田 ミドリさん（加津佐町）
大正５年12月７日生まれ

兵藤 チエノさん（布津町）
大正５年12月11日生まれ

戦国時代のクリスマスを再現

12月３日、ラテン語でクリスマスのお祭りを意味する「フェスティビタス ナタリス」が有馬小学校付近（北有馬町）で開催されました。

今回初めて参加した有馬晴信の妻、菊亭ジュスタの末裔の志賀賢子さん（東京都）は「４００年前、先祖が見た光景を目の当たりにできた」と感慨深げに語りました。

また、戦国時代を再現した南蛮行列では、聖歌隊のグレゴリオ聖歌に合わせ参加者はたいまつを手にまちを練り歩きました。

長崎と天草地方の
潜伏キリシタン関連遺産

「南島原の宝物を世界の宝物に」

有馬キリシタン遺産記念館 来館者５万人達成！

平成26年４月のオープン以来、有馬キリシタン遺産記念館の来館者が11月14日に５万人を達成し、５万人目となった浦田康子さん（長崎市）に記念品と花かごが贈られました。

「現川若返会」の皆さん（19人）と訪れた浦田さんは、「このような経験はこれまでなかった。光栄に思います」と話されました。

特別企画展 「原城籠城～Message～」を開催

有馬キリシタン遺産記念館では、11月から12月にかけて島原・天草一揆の折、一揆軍から幕府軍へ放たれた矢文（複製）をはじめ、市民の方より寄贈・寄託された島原・天草一揆に関する史料を展示した特別企画展を開催しました。

11月29日のオープニングセレモニーでは、矢文の所有者である壺井久子さん（香川県小豆島町）が矢文発見のいきさつなどを話され、「壺井家の子孫として誇りに思う。継承していただいてありがたい」とあいさつされました。